

令和3年度 上田市立塩田中学校 学校評価【最終報告】

学校目標	学校づくりの理念とめざす生徒の姿	総合評価					
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	☆生徒のよさを引き出し、可能性を広げる教育 ☆地域と共に歩む開かれた学校 ～しおだっ子応援団～ <めざす人間像> ふるさとに愛着と誇りを持ち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間	○コロナ禍において全ての教育活動において迅速かつ適切な対応が求められている中、昨年度は先が見通せない状況や不安感から「コロナ禍だからできない(やらない)」「感染拡大防止を最優先して自衛する」等の発想・選択になりがちだったが、今年度は「コロナ禍だからこそ生まれる知恵や工夫」「コロナ禍でも工夫次第でできる」へと臨機応変に発想を転換し、学校行事や集会等を中心に学校目標の具現化に向けた実践につなげられるよう努めた。 ○地域学校協働活動運営委員会(しおだっ子応援団)との連携により、学習・環境整備・行事・スポーツ文化活動の4つの支援ボランティアの方々と交流を通して、学校を支援して下さる方々の思いにふれ、一人一人の生徒が「しおだっ子」としての自覚と誇り、郷土への愛着を高めた。					
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	①自分の考えを、状況に応じて書いたり話したり表現する力を付ける。	○研究テーマ「自らすすんで問題解決に取り組む生徒の育成」のもと、チーム体制による指導や支援に努めた。特に、今年度はICT機器の活用(GIGAスクール構想)を推進し、生徒主体の活動や意見交換の場等を積極的に取り入れることで、自分の思いや考えを表現する力が高まった。 ○落ち着いた学校生活を送っており、挨拶や清掃等は上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れが塩田中生の良さにつながっている。相手の立場や今の状況を見ながら行動(判断)できる力をさらに伸ばしていけるよう支援していく。		○			○授業アンケートや各調査結果から、軽微なものも見逃さず、生徒の実態を的確につかむ。基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的な学びを導く授業実践に努める。 ○生徒の良さを認め、学ぶ喜びや過程を大切にした教育活動に努める。生徒間でも取り組みの良さを共に認め合えるよう促し、共有していく。 ○生徒会が重点を置く「日常生活の充実」に関わる活動から、挨拶や清掃がさらに高まるよう連携を継続する。師弟同行に努め、挨拶や清掃等、職員自らが積極的な姿勢を示す。
	②目標達成に向かい、最後まで粘り強く取り組む態度を育む。				○		
③挨拶や清掃に進んで取り組み、他の人と協力して物事に取り組める。			○				

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	
学校教育	学習指導	課題が明確で生徒が活躍する授業	学習問題が明示され、生徒の活動の場が工夫されているか	○授業のユニバーサルデザイン化に基づいた授業づくり(年7回の公開授業実践)や教室環境整備を全職員で共有・推進することにより、教師の授業力向上につなげた。 ○中間テストに代えて「単元評価デザイン(単元テストによる評価)」を導入し、短い周期で評価を重ねることにより、生徒の学習意欲が向上し、諸検査でも成果が表れた。 △GIGAスクール構想に基づく「タブレット端末の持ち帰り」についての体制づくりを整備する。				○	○GIGAスクール構想に基づき、全ての教科(教師)が日常的な授業実践や自主研修を通して、授業改善(一人一台端末の有効利用)に努める。そのための職員研修を推進する。 ○「授業のユニバーサルデザイン化」「単元評価デザイン」の推進を継続する。 ○「分かる授業」をめざし、生徒の実態に応じた教材化の工夫に努める。「何を学ぶ(何を与える)」から「どのように学ぶ(何を引き出す)」へ発想の転換し、生徒の主体性を育てる授業を推進する。	
		個に応じた学習	個々の生徒への配慮と支援が適切に行われているか	○中間テストに代えて「単元評価デザイン(単元テストによる評価)」を導入し、短い周期で評価を重ねることにより、生徒の学習意欲が向上し、諸検査でも成果が表れた。 △GIGAスクール構想に基づく「タブレット端末の持ち帰り」についての体制づくりを整備する。	○					
		教師の研修	教師の授業準備や授業展開は適切か	○毎月10日アンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導事業の早期発見・早期解決につなげた。必要に応じて外部諸機関とも連携を図った。また、関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えた。 △GIGAスクール構想(一人一台端末の持ち帰り)との関連も視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。	○				○引き続き「チーム体制での対応」「毎月10日アンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域が一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非遵行為防止研修の実践・継続を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりを努める。	
		家庭学習の充実	生徒の計画に基づき授業とリンクした家庭学習ができているか	○上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れから、学年が上がるにつれて落ち着いた学校生活が身にきてきている。規範意識の高い生徒が多く、無言清掃や挨拶なども定着してきている。 △落ち着いた雰囲気や学校全体に浸透してきている中、こうした雰囲気や乗りに乗れない生徒も若干数見られた。	○				○生徒会と連携し、通年で無理なく継続できるように「日常生活の充実」に重点を置く。生徒の主体的な取り組みにつなげられるよう支援を継続する。 ○「挨拶運動(校風委員会)」「縦割り清掃(異学年を合わせた清掃分担)」「学級花壇造り」等の取り組みに見られる生徒の良さや工夫を積極的に発信し、互いに学び合う。	
	生徒指導	適切な生徒理解	生徒の話をじっくり聞いて理解しようとしているか	○毎月10日アンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導事業の早期発見・早期解決につなげた。必要に応じて外部諸機関とも連携を図った。また、関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えた。 △GIGAスクール構想(一人一台端末の持ち帰り)との関連も視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。	○				○引き続き「チーム体制での対応」「毎月10日アンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域が一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非遵行為防止研修の実践・継続を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりを努める。	
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか	○毎月10日アンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導事業の早期発見・早期解決につなげた。必要に応じて外部諸機関とも連携を図った。また、関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えた。 △GIGAスクール構想(一人一台端末の持ち帰り)との関連も視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。	○				○引き続き「チーム体制での対応」「毎月10日アンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域が一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非遵行為防止研修の実践・継続を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりを努める。	
		心の内面に入り込んだ指導	個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか	○毎月10日アンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導事業の早期発見・早期解決につなげた。必要に応じて外部諸機関とも連携を図った。また、関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えた。 △GIGAスクール構想(一人一台端末の持ち帰り)との関連も視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。	○				○引き続き「チーム体制での対応」「毎月10日アンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域が一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非遵行為防止研修の実践・継続を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりを努める。	
		状況に応じた生徒の心に落ちる指導	チーム体制で、一貫性のある指導が行われているか	○毎月10日アンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導事業の早期発見・早期解決につなげた。必要に応じて外部諸機関とも連携を図った。また、関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えた。 △GIGAスクール構想(一人一台端末の持ち帰り)との関連も視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。	○				○引き続き「チーム体制での対応」「毎月10日アンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域が一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非遵行為防止研修の実践・継続を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりを努める。	
	生活指導	自信をもち、友や地域とつながる挨拶	挨拶の指導目標と手だてを明確にして取り組んでいるか	○上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れから、学年が上がるにつれて落ち着いた学校生活が身にきてきている。規範意識の高い生徒が多く、無言清掃や挨拶なども定着してきている。 △落ち着いた雰囲気や学校全体に浸透してきている中、こうした雰囲気や乗りに乗れない生徒も若干数見られた。	○				○生徒会と連携し、通年で無理なく継続できるように「日常生活の充実」に重点を置く。生徒の主体的な取り組みにつなげられるよう支援を継続する。 ○「挨拶運動(校風委員会)」「縦割り清掃(異学年を合わせた清掃分担)」「学級花壇造り」等の取り組みに見られる生徒の良さや工夫を積極的に発信し、互いに学び合う。	
		自らを磨く無言清掃と美しい校舎	黙想で始まり時間いっぱい無言で清掃が行われているか	○上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れから、学年が上がるにつれて落ち着いた学校生活が身にきてきている。規範意識の高い生徒が多く、無言清掃や挨拶なども定着してきている。 △落ち着いた雰囲気や学校全体に浸透してきている中、こうした雰囲気や乗りに乗れない生徒も若干数見られた。	○				○生徒会と連携し、通年で無理なく継続できるように「日常生活の充実」に重点を置く。生徒の主体的な取り組みにつなげられるよう支援を継続する。 ○「挨拶運動(校風委員会)」「縦割り清掃(異学年を合わせた清掃分担)」「学級花壇造り」等の取り組みに見られる生徒の良さや工夫を積極的に発信し、互いに学び合う。	
		はじめのある時間厳守	チャイムで始まりチャイムで終わる授業・活動になっているか	○上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れから、学年が上がるにつれて落ち着いた学校生活が身にきてきている。規範意識の高い生徒が多く、無言清掃や挨拶なども定着してきている。 △落ち着いた雰囲気や学校全体に浸透してきている中、こうした雰囲気や乗りに乗れない生徒も若干数見られた。	○				○生徒会と連携し、通年で無理なく継続できるように「日常生活の充実」に重点を置く。生徒の主体的な取り組みにつなげられるよう支援を継続する。 ○「挨拶運動(校風委員会)」「縦割り清掃(異学年を合わせた清掃分担)」「学級花壇造り」等の取り組みに見られる生徒の良さや工夫を積極的に発信し、互いに学び合う。	
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組める計画・支援が行われているか	○コロナ禍による制限はあるが、感染症対策を工夫した上で臨機応変に実施・開催につなげられるよう努めた。昨年度は一度も実施できなかった授業参観も、今年度は2回実施することができた。 ○環境整備支援ボランティアの皆さんのご協力により、今年度も学校花壇活動が充実し、たくさんのきれいな花を咲かせることができた。	○				○合唱練習や花壇づくり活動、部活動等、十分な感染症防止対策をとった上、感染警戒レベルに応じた活動を継続的に行う。学校行事も同様に、可能な範囲での実施をめざし、生徒の主体的な活動につなげられるよう努める。 ○生徒会活動と連携し、各学年・学級の活動内容の更なる充実を目指す。	
		美しさを感じる心を育てる花壇造り	環境ボランティアと連携して花壇運営が計画的にされているか	○コロナ禍による制限はあるが、感染症対策を工夫した上で臨機応変に実施・開催につなげられるよう努めた。昨年度は一度も実施できなかった授業参観も、今年度は2回実施することができた。 ○環境整備支援ボランティアの皆さんのご協力により、今年度も学校花壇活動が充実し、たくさんのきれいな花を咲かせることができた。	○				○合唱練習や花壇づくり活動、部活動等、十分な感染症防止対策をとった上、感染警戒レベルに応じた活動を継続的に行う。学校行事も同様に、可能な範囲での実施をめざし、生徒の主体的な活動につなげられるよう努める。 ○生徒会活動と連携し、各学年・学級の活動内容の更なる充実を目指す。	
		心身を鍛え技を磨く部活動	目的意識を持ち、生徒が主体的に取り組む部活運営が行われているか	○コロナ禍による制限はあるが、感染症対策を工夫した上で臨機応変に実施・開催につなげられるよう努めた。昨年度は一度も実施できなかった授業参観も、今年度は2回実施することができた。 ○環境整備支援ボランティアの皆さんのご協力により、今年度も学校花壇活動が充実し、たくさんのきれいな花を咲かせることができた。	○				○合唱練習や花壇づくり活動、部活動等、十分な感染症防止対策をとった上、感染警戒レベルに応じた活動を継続的に行う。学校行事も同様に、可能な範囲での実施をめざし、生徒の主体的な活動につなげられるよう努める。 ○生徒会活動と連携し、各学年・学級の活動内容の更なる充実を目指す。	
	学校運営	地域との連携	積極的な授業公開と学習支援ボランティアの活用	開かれた授業、地域ボランティアの活用がされているか	○しおだっ子応援団の皆さんをはじめ、たくさんの方々の地域の方々から様々なご支援いただいたお陰で、塩田中の教育活動に一層の充実が図られた。 △学校支援ボランティア活動の認知拡大を目指し、保護者や地域に積極的に発信する。	○				○地域のボランティアの方々、高等教育機関等の協力をいただきながら、地域に学び、地域で育つ「しおだっ子」としての活動を実践していく。 ○学校HPや学校だより等により、積極的、継続的な発信に努める。
			開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか	○しおだっ子応援団の皆さんをはじめ、たくさんの方々の地域の方々から様々なご支援いただいたお陰で、塩田中の教育活動に一層の充実が図られた。 △学校支援ボランティア活動の認知拡大を目指し、保護者や地域に積極的に発信する。	○				○地域のボランティアの方々、高等教育機関等の協力をいただきながら、地域に学び、地域で育つ「しおだっ子」としての活動を実践していく。 ○学校HPや学校だより等により、積極的、継続的な発信に努める。